

2014 ハイランドスーパーチャレンジ耐久レース

主催

ハイランドスーパーチャレンジ耐久レース特別戦実行委員会
ダイニングガレージ137

大会特別協賛

株式会社トライボジャパン

開催日・申込期間

	開催日	決勝	申込期限
特別戦	5月6日(火)	3時間	4月28日

参加車両カテゴリー

クラス	NA	過給器	燃料タンク	タイヤ
1クラス	1501cc以上	661cc以上	ノーマルタンクの加工・変更不可	市販ラジアルタイヤ
2クラス	1500cc以下	660cc以下		
3クラス	1501cc以上	661cc以上	安全燃料タンクの装着可	市販Sタイヤまで
4クラス	1500cc以下	660cc以下		

参加料金

40,000円(共済金込)

※参加車両1台につき

お問い合わせ

ハイランドスーパーチャレンジ耐久レース特別戦実行委員会
ダイニングガレージ137内 大会事務局

TEL022-288-3137 FAX022-290-0081

参加申し込み方法

(1) 申込

専用の申込書に必要事項を記載の上、大会事務局までFAXしてください。
または以下のWebサイトでもエントリーを受け付けています。

【ハイランドスーパーチャレンジ耐久レース2014特別戦オフィシャルサイト】

<http://challetai.braveway.net/>

(2) エントリー料金の支払い

以下の口座にエントリー料金をお支払いください。

銀行名	七十七銀行(シチジュウシチ)
店名	仙台原町支店
預金種別/口座番号	普通 5578159
口座名義人	仙台ハイランドチャレンジ耐久特別戦 実行委員会 代表 佐藤 秀樹

申込用紙はHPからもダウンロードできます。

<http://challetai.braveway.net>

車両規定

1. 総合仕様

参加車両はクラスの別なく下記の項目を満たすものとする。

[エンジン]

- 当該コースにおいてブローパイガス還元装置のホースを吸気系より取り外す場合は排気量と同容量以上のキャッチタンクを取り付けオイルがコース上に飛散しない様対策すること。
- バッテリーターミナルは(+)(-)の両方にテーピング(絶縁テープが望ましい)を施すこと。
- NOSやナイトロなどの噴射装置の装着をしてはならない。
- レベルゲージはスプリング等抜け止めをすること。又、ファイヤーキャップ、ラジエターキャップ等のキャップ類にテーピングを施すこと。
- 1・2クラスのコレクタータンクは5Lまでとする。

[車室内]

- シートベルトは、4点式以上を義務付けとする。
- ヘッドライトには、ビニールテープを使用し、飛散防止用にテーピングをする事。又、灯火類は正常に作動すること。

[ボディー系]

- オープン車両は4点式以上ロールケージ(運転席もカバーできる物)の装着を義務付ける。但し、オープン車両以外もロールケージの装着を強く推奨する。
ロールケージの頂点は着座したドライバーのヘルメットより高い事。
- タイヤとボディーは、インナーフェンダーも含めてどんな場合でも接触しないこと。タイヤがボディーからはみ出す場合、オーバーフェンダーを装着すること。
- フロントガラスを変更する場合は、新車時に装着されているものと同じか、合わせガラスに限り認められる。尚、サイドガラスリヤガラスをアクリル材に変更する場合は、視界に問題が生じない透明なものとする。又、安全上十分かつ必要な強度及び取付方法とする。
- バッテリーの位置変更については、バッテリーの重量に耐えうる台、またはホルダーを使用して確実に固定する事。尚車室内に移動する場合は金属板で隔壁する事。
- ドアの変更・改造を行う(FRP、カーボン製との交換、内張りはがし等)場合、安全を確保できる強度なサイドバー(車体フロアより20cm以上)を取付する事。
- バッテリーの位置変更については、バッテリーの重量に耐えうる台、もしくはホルダーを使用して確実に固定し、車室内に移動する場合はドライバッテリーを除き金属板で隔壁すること。
- スポイラー類の装着可。但し、スポイラーを装着し、当初から取付られている牽引フックの使用が困難な場合は、十分な強度のある別の牽引フックを追加すること。
- 軽量化のためにボンネットを他の材質に変更する場合は、最低限の強度を確保すること。

[タイヤ・ホイール系]

- 1・2クラスは市販ラジアルタイヤ、3・4クラスは市販Sタイヤまで使用できる。
- ホイール変更可。但しセンターロックは禁止とする。
- ホイールスペーサーの使用は原則として禁止するが、スタッドボルトを延長している場合はこの限りではない。尚、タイヤフェンダーからはみ出さない事。

2. 3・4クラスの車両規則

一般市販車及びそれをベースとした車両で総合仕様で適合していることを条件に下記の改造が許される。

- 安全燃料タンクの容量は100L(コレクタータンク含む)までとする。
- 燃料タンクの変更は、新時時装着と同じものか安全燃料タンクに限られる。又複数の燃料タンクを装着することは認められない。
- 安全燃料タンクに変更した場合、タンク燃料ポンプ、ホースジョイント部が室内に露出しないように、金属板を使用して確実に隔壁する事。
＜注意＞主催者が車検において危険とみなした車両は出走を認めない。

その他詳細については大会規則書を参照の事

